

モノナルガ故ニ同一ノ機關ヲ以テ之ヲ兼ネシムルハ不當ナリ。是レ實ニ
獨逸制度ノ缺點ト云ハザルヲ得ズ。

英獨兩國ノ外、歐洲諸國ニ工業調停局ノ制ヲ設ケタル處アリ。佛蘭西、白耳
義ノ如シ、其組織ハ大概英國ニ則レルモノナルヲ以テ茲ニ之ヲ説明セズ
工業調停局ノ將來ニ關シテ說ヲナス者アリ。其說ク所ニ依レバ曰ク方今
各國ニ於ケル工業調停ノ制度ハ同盟罷工、同盟解雇ノ如キ工業爭議ヲ減
少スルニ就キ多少ノ效力アルハ固ヨリ疑フ可ラザル所ナルモ。今若シ此
制度ヲシテ充分ノ結果ヲ現ハサシメント欲セバ政府ハ宜シク之ニ附ス
ルニ强行力ヲ以テシ。夫ノ工業裁判ノ如クニ政府ノ權力ヲ以テ調停ノ條
件ヲ實行セシムベシト。凡ソ調停ノ强行ニハ二種ノ方法アリ。一ハ召喚ノ
强行ニシテ一ハ調停條件ノ强行ナリ。召喚ノ强行トハ當事者ノ一方ガ調
停局ニ向ツテ調停ノ願出ヲナシタルトキハ調停局ハ強行的ニ他ノ一方
ヲ召喚スルノ謂ナリトス。第一種ノ方法ハ英國調停條例ニ於テ特定ノ條

件ノ下既ニ採用セラレタリ。然レドモ第二種ノ方法ハ未ダ之ヲ實行シタ
ル處ナシ。而シテ是等ノ論者ハ第二種ノ方法ヲ主張スルモノニ外ナラズ
抑モ第二種ノ方法タル恰モ法令ヲ以テ勞働條件ヲ定ムルト其趣ヲ一ニ
セリ。若シ之ヲ實行センカ殆ンド其弊ニ堪ヘザルベシ。殊ニ賃銀額ニ至ツ
テハ其性質上雙方ノ意志ニ放任スペキモノタリ之ニ關シテ調停ノ條件
ヲ强行スルコトハ夫ノ中古時代英國ニ行ハレタル法定貨銀ノ制度ト其
結果同一ナルベク到底實行サルベキコトニ非ルベシ。調停局ノ審判員ニ
シテ神ナラシメハ則チ可ナリ。然ラザル以上ハ調停ノ條件ニ多少失當ノ事
アルハ言ヲ俟タザル所ナルニ。關ラズ政府ノ權力ニ訴ヘテ之ヲ强行スル
ハ勞働者ニ對シ、又資本家ニ對シ其權利ヲ侵害シ自由ヲ制限スルノ已甚
シキモノト云ハザル可ラズ。余ノ見ル所ニ依レバ調停條件ノ實行ニ就キ
テハ自ラ其途アリ必ラズシモ政府ノ强行ヲ俟タザルベシ。何ゾヤ勞働者
ニ在ツテハ職工組合又資本家ニ在ツテハ同業組合ノ發達ヲ圖ルコト是

ナリ。英國ニ於テ調停局ノ實績顯著ナル所以ハ主トシテ此二種ノ組合ガ整然タル組織ヲ有シ而シテ是等組合ノ役員ガ調停局ノ審判員タルニ由ラズンバアラズ。蓋シ是等ノ人々カ決定シタル條件ハ直チニ雙方ノ組合ノ意志トナルベク此條件ニ關シテハ組合ハ團體ノ勢力ヲ藉ツテ之ヲ組合員ニ強制スルコトヲ得ベシ。組合員ニシテ若シ之ニ背カンカ之ガ爲メニ被ルベキ組合ノ制裁ハ恐ルベキモノアルヲ以テ、調停ノ條件ニ對シ多少ノ不滿アルモ寧ロ忍ンデ之ニ屈從スルヲ以テ利トナスベシ。英國ノ實例ニ關スル余ノ觀察ニシテ果シテ誤ル所ナカラシメバ調停局ノナシタル調停條件ノ實行ヲ保證スルニハ只勞働者及ビ資本家ノ組合ヲシテ充分ナル發達ヲナサシムルニ在ルノミ。政府ノ權力ヲ藉ルガ如キハ實ニ危險ノ極ト云ハザルヲ得ズ。

第十七章 勞働紹介

社會改良策ノ主トスル所ハ先づ勞働者ノ地位ヲ安固ナラシムルニ在リ、勞働者ノ地位ヲ安固ナラシメント欲セバ勞働者ノ失業ノ機會ヲ減少スルコトヲ務メザル可ラズ、勞働者ノ失業ノ機會ヲ減少スル方法ハ他ナシ。勞働ニ關スル需要ト供給トヲ密接セシムルコト、及ビ其ノ需要ト供給トノ平衡ヲ得セシムルコト是ナリ。此二種ノ目的ヲ達スルガ爲メニ勞働紹介ノ制度ハ起レリ。

勞働ノ需要供給ノ連鎖タルノ機關ナキコトハ失業勞働者ヲ出スノ原因タリ此場合ニ勞働者ハ其業ヲ求メント欲セバ自ラ工場ノ門ヲ叩カザル可ラズ、然ラザレバ知己親戚ニ頼ツテ紹介ヲ乞ハザル可ラズ。是ノ如クンバ勞働者ハ努力ヲ徒費シ時間ヲ空耗シ其ノ失フ所少キニ非ズ、而シテ適當ナル需要ヲ發見スルマデハ失業勞働者トナリテ生活ノ困難ヤ最モ甚

シカルベシ。然ルニ今若シ勞働紹介ノ制度アランカ、勞働者ハ山ツテ以テ
容易ニ其需要ノ有無ヲ知ルゴトヲ得ルガ故ニ既ニ一タビ其業ヲ失フモ
直チニ業ニ就クコトヲ得ベク失業ノ時期ハ比較的ニ縮少セラルベシ。果
シテ然ラバ勞働紹介ノ制度ハ失業者ヲ減少スルノ方法タリ、從ツテ勞働
者ノ地位ヲ安固ナラシムルノ機關タリト云ハザル可ラズ。
勞働ノ需要ト供給ノ間ニ平衡ヲ保タザル結果トシテ多數ノ失業勞働者
ヲ出ダスコトモ亦吾人ノ常ニ観ル所ナリトス。今若シ勞働ノ需要ニシテ
供給ニ超過センカ、之ガ爲メニ一國生産ノ發達ヲ阻害シ延ヒテ勞働者ノ
利益ヲ害スルコト少キニ非ルモ、直接ニ害ヲ被ル者ハ資本家ニシテ勞働
者ニ非ルナリ勞働者ハ却ツテ之ニ由ツテ其賃銀ヲ增加スルヲ得ルノ利
アリ、若シ反之シテ勞働ノ供給ニシテ需要ニ超過センカ、勞働者ノ賃銀減
少スルノミナラズ失業者ノ數ハ更ニ増加スルヲ免レズ。一派ノ社會主義
者ハ生産ノ進歩ハ機械ノ應用ヲ促ガシ機械ノ應用ハ勞働ノ需要ヲ減少

スルト同時ニ人口増殖ハ次第ニ勞働者ノ供給ヲ増加スルノ事實ニ基キ
社會ノ進歩スルニ從ツテ漸次勞働者ノ供給ハ需要ニ超過スルノ傾向ア
ルコトヲ豫言セリ。此豫言ノ不當ナルコトハ先キニ屢々之ヲ説明シタル
ヲ以テ茲ニ之ヲ論及スルノ必要ナシ、然レドモ勞働ノ需要供給ノ關係ニ
就イテ社會問題上考慮スベキモノ種々アリ、即チ各種ノ職業ノ間ニ勞働
者ノ需要供給ノ平衡ヲ保タザルヨリ生ズル所ノ弊害ノ如キハ之ヲ忽諸
ニ附ス可ラズ、例ヘバ甲ノ職業ニ於テ勞働者ノ供給ハ需要ニ超過セルモ
乙ノ職業ニ於テハ却ツテ需要ハ供給ニ超過セル場合ノ如キ甲ノ職業ニ
從事セル勞働者ノ間ニハ幾多ノ失業者ヲ出ダスノ憂アルモ乙ノ職業ニ
家ヲ制スルノ力ヲ有シ其賃銀ハ増加シ其勞働條件ハ之ヲ改良スルコト
ヲ得ベシ。今此二種ノ職業ニシテ全ク其性質ヲ異ニスルモノナラシメバ
乃チ已マン。若シ然ラズシテ技術上轉業ノ容易ナル事情存セル場合ニハ

彼ノ餘アルヲ以テ是ノ足ラザルヲ補フコトヲ得ベク、從ツテ失業勞働者ヲ減少スルコトヲ得ン。或ハ之ヲ絶無ニ歸セシムルコトヲ得ルモ亦知ル可ラズ。此方法ニ依テ各種ノ職業ノ間ニ適當ナル勞働者ノ分配ヲナス爲メニハ必ラズヤ勞働紹介ノ力ヲ籍ラザル可ラズ。

勞働者ノ需要供給ノ平衡ヲ失フコトハ啻ニ各種ノ職業ノ間ニ於テ之ヲ見ルノミナラズ又各地域ノ間ニ於テ屢々起ル所ノ事實ナリ例ヘバ甲ノ地方ニ於テハ勞働者ノ數過多ニ失シ失業勞働者常ニ絶ヘザルモ乙ノ地方ニ於テハ勞働者ノ欠乏ノ爲メニ産業ノ發展ヲ阻害スル場合ノ如シ、之ヲ實例ニ徵スルニ近時獨逸國ニ於テ郡村ノ住民ハ漸次減少シテ都市ノ住民ハ次第ニ増加シ之ガ結果トシテ郡村ニ於テハ勞働者缺乏セルガ爲メニ各種ノ産業廢墮ニ歸スルモノアルニ反シ都市ニ於テハ失業勞働者ハ歲ヲ追フテ增加シ貧民ノ數ハ益々陪隨スルノ傾向ヲ生シタリ、今若シ完全ナル勞働紹介ノ制度アラシメバ此弊ヲ濟フ敢テ難キニ非ルベシ。

勞働紹介所ハ各職業ノ間ニ於テ又各地域ノ間ニ於テ勞働ニ關スル需要供給ノ平衡ヲ保タシムルノ手段トシテ當ニ勞働者ノ地位ヲ紹介スルヲ以テ足レリトセズ、更ニ進ンデ各地域ニ於ケル各種ノ職業ニ就テ當ニ勞働ノ需要供給ノ比例ヲ調査シ之ガ結果ヲ公示スルコト猶ホ取引所ニ於ケル物價表ノ如クスルヲ要ス、此方法ニシテ完全ナランニハ勞働者ハ山ツテ以テ職業ノ撰定ヲナスニ當リ供給ノ充溢セル職業ヨリハ寧ロ供給ノ缺乏セル職業ニ向ツテ其業ヲ求ムルニ至ルベク、又郡村ノ住民ガ妄リニ都市ニ移住スルノ趨勢ヲ阻止スルコト難キニ非ラズ、是ノ如クシテ勞働紹介所ハ始メテ充分ニ其目的ヲ達スルコトヲ得ベシ、夫ノ佛國及ヒ白耳義ニ於テ勞働紹介所ノ一種トシテ勞働取引所ノ設立セラレタルハ蓋シ此必要ニ應シタルモノニ外ナラズ。

由是觀之レバ勞働紹介ノ目的ハ勞働ノ需要供給ニ關シテ之ガ連鎖ノ機關タルト同時ニ之ガ平衡ヲ保タシムルノ方法タルニ在リ而シテ此二種

ノ方法タル與ニ勞働ノ市場ニ於テ成ルベク失業勞働者ナカラシムルコトヲ以テ其目的トナスコトヲ知ラバ勞働紹介ノ社會改良ノ効力ハ之ヲ推スニ難カラザルベシ

今歐洲各國ニ於ケル勞働紹介所ノ實例ヲ按スルニ大略之ヲ四種ニ分ツコトヲ得ベシ

- (1) 営利事業タル勞働紹介
 - (2) 同業組合ノ勞働紹介
 - (3) 職工組合ノ勞働紹介
 - (4) 自治體ノ勞働紹介
- 余ハ是ヨリ進ンデ先キニ述ベタル勞働紹介ノ性質ニ微シ是等ノ各制度ニ就イテ其利害得失ヲ講究セント欲ス

第一 営利事業タル勞働紹介

勞働紹介ヲ以テ一種ノ社會改良策トナス以上ハ之ヲ營利事業ニ放任ス

可ラザルコトハ固ヨリ言ヲ俟タズ抑モ營利事業トシテノ勞働紹介ハ善ク資本家及ヒ勞働者双方ノ要求ヲ充足スルノ利アルモ其ノ目的トスル所ハ營利ニ外ナラザルガ故ニ種々ノ弊害ヲ惹起スラ免レズ例ヘバ頻リニ契約ノ更改ヲナサシメ由ツテ以テ手數料ヲ得ルニ汲々タルノ結果寧ロ勞働者ノ地位ノ轉々スルコトヲ欲シ或ハ勞働者ニ過重ノ手數料ヲ請求シ勞働者ノ所得ヲ減少スルヲ意トセザルガ如キ營利事業ニ伴フ必然ノ弊害タリ己甚シキニ至ツテハ壓抑欺瞞ヲ逞フシテ勞働者ヲ陷ル、コトアリ又幼者婦女ノ勞働者ニ對シテ往々風紀ヲ紊亂シ倫常ヲ破壞スルノ階梯ヲ作ルコトナキニ非ラズ是ヲ以テ歐洲各國ニ於テハ此種ノ勞働紹介所ヲシテ嚴重ナル監督ノ下ニ立タシメ漸次之ヲ鎮壓スルノ傾向アリ茲ニ其一例ヲ舉ゲンニ千八九七年佛國下院ハ私設勞働紹介所ニ關スル取締法案ヲ議決セリ先是佛國ニ於テハ之ガ取締ニ就イテ命令ノ規定アリシモ其監督ノ充分ナラザルガ爲メニ終ニ法律ヲ以テ之ヲ監督スル

ノ必要ヲ認ムルニ至リタリ。其決議ノ要旨ハ左ノ如シ
(1) 私設労働紹介所ヲ設立セント欲スル者ハ自治體ノ許可ヲ受ケザル
可ラズ

(2) 自治體ハ私設労働紹介所ガ當事者雙方ヨリ受クベキ手數料ノ額ヲ
定ムルノ權ヲ有ス

(3) 自治體ハ私設労働紹介所ニ對シテ此手數料ヲ雙方ニ均分負擔セシ
ムルコトヲ命令スルノ權ヲ有ス

此決議ガ上院ニ送付セラル、ヤ、上院ニ於テハ自治體ノ權限ガ徒ラニ過
大ニ失スルヲ非議スル者アリ或ハ労働紹介ノ利ヲ受クルハ労働者ナル
ガ故ニ手數料ノ負擔ハ只労働者ニノミ歸スベク僕主ニ歸ス可ラズト論
ズル者アリシモ、多數ハ此決議ニ賛同シ只自治體ノ處分ニ對シ縣知事ニ
訴願スルノ權ヲ營業者ニ與フルノ一項ヲ挿入シタルニ過キズ。此決議ハ
遂ニ法律トシテ公布セラレタリ亦以テ歐洲各國ニ於テ營業トシテノ勞

労働紹介所ニ對スル輿論ノ一班ヲ知ルニ足ラン

第二 同業組合ノ労働紹介

同業組合ノ經營ニ係ル労働紹介所ハ歐州各國ニ於テ其實例乏シトセズ
顧フニ資本家ノ團體タル同業組合ヲシテ労働紹介ノ局ニ當ラシムルコ
トハ社會改良ノ點ヨリ觀察スレバ利害相半バスルモノト云ハザルヲ得
ズ之ヲ營利事業タルモノニ比スレハ遙カニ其右ニ出ルコトハ固ヨリ言
ヲ俟タズ、即チ此種ノ労働紹介所ニ於テハ營利事業タル労働紹介所ノ如
キ弊害ヲ生ゼザルノミナラズ労働者各自ノ技術ト地位トヲ適合セシム
ルニ就テ少カラザル便益ヲ有セルモノトス、然レドモ同業組合ノ労働紹
介ニ伴フ弊害モ亦輕々ニ看過ス可ラザルモノアリ蓋シ此種ノ労働紹介
所ニ在シテハ資本家ハ動モスレハ自己ノ利益ノ念ニ驅ラレ之ガ爲ニ労
働紹介ノ本分ヲ全フル能ハザルコトアレバナリ、換言スレバ労働者ノ
需要供給ノ連絡ヲ通ズルコトヲ得ルモ需要供給ノ平衡ヲ保ツ能ハザル

コト是ナリ、抑モ資本家ノ設備ニ成ル勞働紹介所ハ其ノ主眼トスル所ハ由ツテ以テ勞働者ヲ制御セントスルニ在リ、是ヲ以テ種々ノ方便ニ訴ヘテ常ニ勞働者ノ供給ヲシテ需要ニ超過セシメ、從ツテ賃銀ヲ低下ナラシムルト同時ニ多數ノ志願者ニ就イテ最モ適當ナル者ヲ擇拔スルコトヲ務ムルノ弊アルヲ免レズ。去レバ此制度タル徒ラニ資本家ヲシテ私利ヲ逞フセシムルノ機關タリ、而シテ勞働者ニ對シテ失業ノ陥窮ヲ造ルモノタリ、是等ノ事タル社會改良上稱揚スベキニ非ラズ。

一八九八年獨逸ニ於ケル各種ノ同業組合ハ其設立ニ係ル勞働紹介所聯合會ヲ「ライブチッヒ」ニ開ケリ。該會ノ決議ニ曰ク勞働紹介所ハ大小工業ノ利益ノ爲メニ資本家之ヲ組織經營セザル可ラズト。今該會ニ於ケル議論ノ要旨ヲ舉グレバ、「マルテン」ハ曰ク勞働紹介ニハ勞働者ノ技術及ビ性行ニ就イテ精密ナル觀察ヲナスコト必要ナリ。此目的ヲ達スルニハ資本家ノ設立セル勞働紹介所ニ若クモノナシト、「ナッセ」ハ曰ク資本家ノ設立セ

ル勞働紹介所ハ勞働者ト社會黨トヲ隔離セシムルノ力ヲ有スト。『クレップエル』ハ曰ク此制度ハ勞働者ノ技術及ビ徳性ヲ養成スルガ爲メニ必要ナリ奈何ントナレバ此目的ヲ達センニハ強迫ニ依ラザル可ラズ而シテ此制度ハ此強迫ヲナスノ好機關タレバナリト。或ハ曰ク勞働紹介ハ資本家ノ權利ナリト。是等ノ議論タル要之スルニ資本家ノ私情ノ發表ニ過キズ。勞働者ノ權利ヲ無視シ主從ノ關係ヲ以テ勞働者ヲ待タントスルモノナリ、學理上喫ヲ容ル、ノ價値ナキモノナルヲ以テ茲ニ之ヲ評論セズ。

第三 職工組合ノ勞働紹介

余ハ先キニ職工組合ノ組織及ビ活動ヲ説明セル場合ニ勞働紹介ハ職工組合事業ノ一部タルコトヲ述ベタリ。職工組合ノ經營ニ係ル勞働紹介ハ當ニ職工組合ノ發達ノ爲メニ必要ナル條件タルノミナラズ、勞働紹介其物ノ性質ニ徵シ社會改良上最モ有益ナル制度タルモノトス。蓋シ職工組合ハ勞働者ノ失業ニ就テハ最モ深厚ナル同情ヲ有セルコトハ固ヨリ言

ヲ俟タズ、加之フルニ職工組合ハ組合員タル勞働者ノ失業ニ對シ適當ナル救濟ヲナスヲ以テ其任務トナスヲ以テ勞働紹介ノ效果ヲ完フシ成ルベク失業者ヲ減少スルコトヲ圖ルハ組合ノ經營上必要ノコトタリ。去レバ道義ノ關係ヨリ又利害ノ打算ヨリ職工組合ヲシテ勞働紹介ヲ經營セシムルハ社會改良ノ目的ヲ達スルニ於テ緊切ナル處置ト云フベシ。職工組合ノ祖國ト稱セラル、英國ニ於テ職工組合ニ加入セル勞働者ガ比較的失業ノ不幸ニ陥ルコト少ナキヲ得ルハ他ナシ、此組合ノ經營セル勞働紹介ガ充分ナル效果ヲ奏セルニ依ルナリ。然リト雖モ職工組合ノ勞働紹介ニ就テ多少非難スベキ點ナキニ非ラズ、顧フニ職工組合ハ只其組合員タル勞働者ニ對シテ勞働ノ紹介ヲナシ組合以外ノ者ニハ此利益ヲ享受セシムルコトナシ、然リ而シテ各國職工組合ノ現狀ヲ見ルニ職工組合ハ主トシテ所謂精巧勞働者ヲ網羅シ所謂普通勞働者ニ及ホサルノ傾向アリ、普通勞働者ハ其供給常ニ定マリナク從ツテ失業ノ機會多キモノナ

ルニ關ラズ職工組合ニ依ツテ勞働紹介ノ恩澤ニ霑フ能ハザルハ社會改良上洵ニ憾ムベキコト、斯且又職工組合ハ勞働市場ニ於テ勞働ノ供給ヲシテ需要ニ超過セシムルコトナク由ツテ以テ資本家ヲ制御スルニ汲々タルノ結果、組合ノ加入ニ就テ種々ノ制限ヲ附シ組合員ノ増加ヲ一定ノ限度ニ止ムルノ弊アルヲ免レズ、從ツテ勞働紹介ノ方法ニ依ツテ勞働ニ關スル需要供給ノ平衡ヲ保タシタルニ就テ只組合員タル勞働者ノ供給ヲシテ需要ニ適合セシムルコトヲ務メ、組合員以外ノ勞働ノ供給ハ之ヲ眼中ニ置カズ其利害休戚ハ寧ロ之ヲ輕視スルノ事實ハ屢々之アリトス。要之スルニ職工組合ヲシテ勞働紹介ノ業ヲ營マシムルハ其利益大ナルモノアルモ、勞働紹介ヲ以テ全然職工組合ノ手ニ委スルハ此制度ノ目的ヲ完全ニ遂行スル所以ニ非ラズ。

第四 自治體ノ勞働紹介

自治體ヲシテ勞働紹介ノ業ヲ營マシムルハ社會改良上必要ノコトタリ。

顧フニ自治體ノ勞働紹介制ハ紹介ノ費用ハ主トシテ公費ニ依リ加フルニ資本家ヨリ納ムル所ノ手數料ヲ以テシ勞働者ニ對シテ毫未ノ報酬ヲ求ムルコトヲ以テ夫ノ營利事業タル勞働紹介ノ如キ弊害ハ之ヲ避クルコトヲ得ベシ、又其ノ主眼トスル所ハ勞働者ノ利益ヲ保護スルニ在ルヲ以テ資本家ノ經營ニ成ル紹介所ノ如クニ資本家バ專横ヲ扶クルノ憂モ亦之ナキヲ得ン。之ヲ職工組合ノ勞働紹介ト比較センニ、自治體ノ勞働紹介ハ此制度ニ依ツテ利益ヲ受クル者ニ何等ノ制限ヲ置カザルヲ以テ職工組合ニ於ケルガ如クニ偏頗ナル處置ヲナスコトナシ。然レドモ職工組合ハ紹介スベキ勞働者ノ技術及ビ性行ニ關シテ充分ナル判断ヲナスコトヲ得ルガ故ニ勞働ノ紹介ヲナスニ當ツテ適當ナル地位ニ適當ナル勞働者ヲ置クコトヲ得ルニ反シテ、自治體ノ勞働紹介ニ在ツテハ事務ノ局ニ當ル者此能力ヲ有セズ單ニ勞働ノ供給ト需要トノ連鎖ヲナスニ過ギズ、從ツテ需要者タル資本家モ供給者タル勞働者モ均シク不安ノ念ヲ

起シ此制度ヲ利用スル場合少ナキニ至ルノ事實アルヲ免レズ、是故ニ精巧勞働者ハ自カラ職工組合ニ依リ勞働ノ紹介ヲ求メ普通勞働者ノミ自治體ノ紹介所ニ集マルノ傾向ヲ生ズルナリ、自治體ノ勞働紹介制ノ最モ發達セル獨逸ニ於テ此事例ハ常ニ見ル所ナリト云フ、依是觀之レバ自治體ノ勞働紹介ハ職工組合ノ勞働紹介ト相俟ツテ始メテ此制度ノ利益ヲ一般ニ普及セシメ社會改良ノ理想ヲ完全ニ遂行スルコトヲ得ン。

右述ブル所ハ勞働ノ需要供給ノ連鎖タルニ就キ自治體ノ勞働紹介ノ利害ニ關スルモノタリ、今翻ツテ勞働ノ需要供給ノ平衡ヲ保ツノ方法トシテ此制度ヲ觀察センニ此制度ガ特得ノ長處ヲ有セルコトヲ認メザルヲ得ズ獨逸ニ於テ各都市ノ勞働紹介所ハ精密ナル勞働統計ヲ調製シテ定期ニ之ヲ刊行スルヲ例トス是等ノ統計ハ各都市ニ於ケル勞働ノ需要供給ノ數量、貨銀ノ高低、失業者ノ増減等、苟モ勞働市場ノ趨勢ヲ知ルニ足ルベキ材料ハ悉ク網羅セルコト恰モ商品取引所ノ發行スル物價表ト同一

ナリトス。此勞働統計ノ利益ハ先ニ述ベタル如ク勞働者ハ之ニ由ツテ職業撰定ノ方針ヲ定ムルコトヲ得ベク其地位ヲ改良スルニ於テ得ル所少ナカラザルベシ。且又苟モ社會改良ノ局ニ當ル者ハ據ツテ以テ勞働ノ状況ヲ明ニシ救濟ノ方法ヲ按出スルノ資ヲ得ベク、夫ノ職業及ビ地域ノ關係ニ基ケル勞働分配ノ不平均ノ弊害ヲ濟ヒ失業者ヲ豫防スルニ就キ至大ノ便益ヲ與フルモノタリ。

勞働紹介ノ目的ヲ達スルニハ自治體ノ經營ヲ必要トスルノミナラズ自治體ハ窮民救助法ノ關係上勞働紹介ノ事業ヲ營ムニ就キ正當ノ理由ヲ有セリ。顧フニ歐洲各國中窮民救助法ヲ實行セル處ニ在ツテハ自治體ヲシテ窮民救助ノ責任ヲ負ハシムルヲ例トセリ。而シテ所謂窮民ナル者ニ就テ失業勞働者其多數ヲ古ムルコトハ爭フ可ラザル事實ナリ。『マーカス』ガ其著『資本論』ニ於テ勞働者ノ豫備兵ナル名稱ヲ以テ窮民ヲ目シタル亦宜ナリト云フベシ。此失業勞働者ハ悉ク不具廢疾ニシテ到底勞働ノ能力

ナキ者ト云フ可ラズ、其中ニハ強健ナル身體ヲ有シ勞働ノ能力完全ナル者モ亦之アラン。是等勞働者ニ對シテ勞働紹介ノ方法ニ依ツテ適當ナル職業ヲ得セシムルハ即チ公共ノ負擔タルベキ窮民ノ數ヲ減ズル所以ナリトス。去レバ自治體ヲシテ窮民ノ救助ヲナスト同時ニ勞働紹介ノ業ヲ營マシメンニハ自ラ窮民救助ニ要スル費用ヲ節約スルノ結果ヲ生ベシ。且又窮民ノ救助ハ勤モスレバ濫惠ノ弊ニ陥リ易キヲ以テ善ク窮民ノ種類ヲ明ニシ已ムヲ得ザル者ニ對シテノミ救助ヲ行フハ窮民救助ノ主眼トスル所ナリ。今自治體ノ勞働紹介所アランニハ窮民ノ種類ニ依ツテハ之ヲ勞働紹介所ニ移シ勞働ニ從事セシムルヲ得ベシ。要之スルニ勞働紹介制ハ窮民救助法ト密接ノ關係ヲ有セルモノタリ。窮民救助ニシテ既ニ自治體ノ責任タル以上ハ自治體ヲシテ勞働紹介ノ業ヲ營マシムルハ至當ノ措置ト云フベシ。

歐洲各國ニ於ケル自治體ノ勞働紹介制ノ現況ヲ按スルニ大陸諸國ニ於

テ盛ンニ行ハレタリ。英國ニテハ勞働紹介ハ主トシテ職工組合ノ事業トシテ經營セラレタルヲ以テ自治體ノ勞働紹介制ハ未ダ見ルニ足ルモノナシ、大陸諸國ニ於テ獨逸ハ此制度ノ根據地トモ云フベク全國到ル處大都市ニ於テハ此設備ナキハ殆ンド之ナシ夫ノ「スツットガルト」市ノ如キハ夙ニ其組織ノ完備セルヲ以テ名アリ自治體勞働紹介制ノ模範ヲ示セルモノタリ

獨逸ニハ市設及ビ慈善團體ノ勞働紹介所聯合會アリ、毎年一回總會ヲ開キテ各地方ノ實例ヲ蒐集シ互ニ意見ヲ交換スルコト、セリ。一八九八年「カールスル」市ニ於テ該會ノ開會アリケレバ余ハ之ニ出席シ親シク會議ノ實況ヲ見ルコトヲ得タリ、來會者ハ二百餘名ニシテ獨逸大都市ノ市長及ビ助役等多數ノ集會者アリ、亦以テ市設勞働紹介局ハ漸次輿論ノ贊同ヲ得タルコトヲ知ルベシ

一八九九年ノ獨逸帝國議會ニ於テ議員「ロー・ヂッケ、バッハニッケ」ハ市設勞働

所ニ關スル法律案ヲ提出シタリ。此案ノ要旨ハ市設勞働紹介所ニ關シテ工業裁判局ノ如ク法律ヲ以テ一定ノ準則ヲ示シ而シテ各自治體ヲシテ必要ニ應ジテ任意ニ之ヲ設立スルヲ得セシムルニ在リ。此法案ノ出ルヤ社會黨議員ハ舉ツテ之ニ贊成シタルモ工場主ヲ代表シタル議員ハ之ニ反對シタル者多カリキ

佛國ニ於ケル市設勞働紹介ノ施設ハ未ダ充分ナル發達ヲナサズ一八九八年該國勞働局調査ニ依レバ勞働紹介所ヲ有セル市ノ總數ハ十九ニシテ其重ナルモノハ巴里「リヨン」「リール」「ラルレアン」等ナリ。數年前巴里ニ於テ市業トシテ勞働取引所ヲ創設シタルコトアルガ若干モナクシテ其事業ハ創立ノ趣意ニ背キ終ニ廢滅ニ歸シタルハ惜ムベシ

英國ニ於テハ先キニ述ブル所ノ理由ニ基キ市設紹介所ハ未ダ盛ンナラザルモ近時輿論ハ此必要ヲ認メタルノ看アリ。一八九八年春倫敦各區ノ代表者ハ相會シテ市設紹介所ノ計画ヲ立て左ノ議決ヲナシタリ

(1) 倫敦市内各公共團體ノ勞働紹介所ノ聯合ヲ圖ルノ目的ヲ以テ委員會ヲ組織スルコト
 (2) 議院ヲシテ自治體ニ勞働紹介所ヲ設タルノ權限ヲ與フルノ議決ヲナサシムルコト

一八九九年春市設勞働紹介所ニ關スル各市聯合會ハ倫敦ニ開カレタリ、之ニ贊同セル市ノ總數ハ十七ニシテ代表者ノ總數ハ四十六人ナリキ茲ニ其決議ノ要領ヲ舉ゲン

(1) 本會ハ市設勞働紹介所ノ必要有益ナル機關タルコトヲ認ムルコト
 (2) 各市ノ設立セル勞働紹介所ノ聯合本部ヲ倫敦ニ設ケ之ヲ中央勞働取引所ト稱スルコト

奧國ニ於テモ亦近時此制度ノ必要ヲ主張セル者次第ニ增加シ政府モ終ニ之ヲ容レ、一八八七年該國ニ於ケル勞働紹介ノ狀況ヲ調査シタル後二万五千「グルデン」ノ國庫補助金ヲ支出シテ以テ市設勞働紹介所ヲ獎勵セ

リト云フ

瑞士ニ於テハ此制度ノ發達セルコト獨逸ニ次ダリ殊ニ「ベルン」「サンガレン」「リュツチッヒ」市ノ施設ハ以テ則ルニ足ルモノアリト云フ

第十八章 勞働者ト産業組合

性質組合ノ

余ハ第七章ニ於テ小工業ト産業組合ノ關係ヲ論ジ産業組合ガ小工業者ノ生存發達ヲ助成スルノ力アルコトヲ述ベタリ。抑モ産業組合ノ利ヲ享クル者ハ啻ニ小工業者ニ止ラズ、組合ノ種類ニ依ツテハ勞働者ト雖モ尙ホ之ヲ利用スルコトヲ得ベシ。歐洲各國ニ於テ勞働者ノ間ニ行ハレタル産業組合ノ種類ヲ舉グレバ消費組合及ビ生産組合ノ二者トナス。余ハ茲ニ是等ノ組合ニ就キ講述スル所アラン。

消費組合トハ組合員ノ消費スル所ノ生活必要品ヲ共同ニ購入シ之ヲ組合員ニ賣捌クヲ以テ其業務トナセル組合ナリ。此組合ニハ二種ノ區別アリ、此區別タル組合員ニ物品ノ賣捌ヲナスニ當リ其價格ヲ定ムル方法ノ異ナルニ依ツテ起ルモノトス。即チ一ハ組合ガ購入シタル原價ニ加フルニ只組合ノ經營ニ必要ナル費用ノミヲ以テシ小賣ノ利益ヲ合算スルコ

トナクシテ販賣價格ヲ定メ組合員ニ對シ一般小賣店ノ賣價ニ比シテ幾分カ低廉ナル價格ヲ以テ物品ヲ賣捌クヲ以テ目的トセリ。一ハ組合ガ組合員ニ要求スル價格ハ普通ノ市價ト同一ニシテ組合員ハ組合ヨリ購買スルモ小賣店ヨリ購買スルモ價格ニ等差ナシ、然レドモ組合ハ卸店ニ就キ卸相場ヲ以テ物品ヲ購入シ小賣相場ヲ以テ之ヲ賣捌クガ爲メニ生ズル小賣ノ利益ハ購買額ニ應ジテ組合員ニ分附シ而シテ此利益ハ各組合員ノ貯金トシテ組合ニ之ヲ保管スルモノトス。方今歐洲各國ニ於テ盛シニ行ハル、所ノ消費組合ハ概不第二方法ヲ採リ第一方法ニ依ルモノハ甚ダ少ナシ、去レバ余ハ茲ニ第二方法ニ依レル消費組合ニ就テ説明セント欲ス消費組合ハ職工組合ト均シク英國ヲ以テ其誕生地トナス。其濫觴ハ一八四四年「ロツチデール」市毛布職工ノ創立セルモノニ在リ、「ロツチデール」「マンチエスター」附近ノ一小都市ナリ、十九世紀ノ中葉ノ頃此地方ノ毛布工業ハ非常ノ悲境ニ沈淪シ失業勞働者ハ其數ヲ知ラズ工場ニ留ル者ト

雖モ賃銀ハ非常ニ低落シテ生計ノ困難名狀ス可ラザルモノアリ、之ガ救濟ノ方法ニ就キ勞働者ハ屢々集會ヲ開キ種々ノ計畫ヲ立テタリキ。偶々該市ニ於テ「チャーチス」(社會黨ノ一派)ノ會合アリケルガ「ボワース」ナル一勞働者ハ起テ消費組合ノ案ヲ演述セリ。然ルニ大聲ハ俚耳ニ入ラズ此巧妙ナル考案モ多數ノ贊同ヲ得ル能ハズシテ已ミタリキ。若干モナクシテ「ボワース」ハ二三ノ同志者ト與ニ該地方ノ勞働者ヲ歴訪シ之ニ加入スルコトヲ勸誘シ漸ク二十八名ノ贊成者ヲ得テ各々一「ボンド」ノ出金ヲナシ消費組合ヲ組織セリ。嗟此二十八名ノ組合員、二十八「ボンド」ノ資金ヲ以テ創立セラレタル組合ハ僅ニ六十餘年ヲ經過シタル今日ニ在ツテ既ニ英國ハ勿論大陸諸國ニモ普及セリ。此創立者タルニ十八名ノ勞働者カ消費組合ノ祖先トシテ其名聲歐洲ヲ動カスモノアル豈偶然ナランヤ「ロッヂデール」組合ハ斯ノ如クシテ設立セラレタリ。業ヲ開クニ及ンデ其効績ハ次第ニ世間ノ認ムル所トナリ數年ノ後ニハ會員ノ數六百ニ達セ

リ。是ヨリ後各地方ニ於テ之ニ則レル組合ノ設立ハ歲ヲ追フテ增加セリ。一八六二年ノ議會報告ニ依レバ組合ノ總數四百五十ニシテ組合員ノ總數九萬人ニ上レリ。一八六四年「エングランド」各地方ノ組合ハ互ニ聯合シテ「マンチエスター」市ニ中央消費組合ヲ設ケ一八六八年「スコットランド」各地方ノ組合ハ「グラスゴー」市ニ同一ノ設備ヲナセリ。是等中央消費組合ノ目的ハ各地方組合ガ要スル物品ヲ共同ニ購入シ之ヲ各地方組合ニ配附スルニ在リ。此聯合機關ノ組織ハ更ラニ消費組合ノ發達ニ一大刺擊ヲ與ヘタルコト固ヨリ疑ヲ容レズ。此以後地方組合ノ進歩ハ實ニ駿々乎トシテ禦グ可ラザルモノアリ。今第七回勞働局年報ニ依リテ英國消費組合ノ近況ヲ示サン。

	組合數	組合員數	出資額	資上高
一八八三年	一、〇五	六二七、六二五	六、三九八、七四四	一八、五四〇、〇〇四
一八八四年	一、一二八	六九六、二八二	六、六五二、三九〇	一九、五六九、九四〇
一八八五年	一、一四八	七四六、七七二	七、五〇八、九〇〇	一九、八七二、三四三

一八八六年	一一四八	七七四、四〇八	七、九二六、六五〇	二〇、四〇六、四三三
一八八七年	一一五三	八二八、〇七三	八、五六一、〇九八	二二、三五八、二〇七
一八八八年	一二〇四	八六七、二三三	八、九〇六、六六二	二三、九八七、二〇六
一八八九年	一二九七	九三二、〇〇〇	九、五二二、一〇八	二五、八八七、二四〇
一八九〇年	一二四〇	九六一、六一六	一〇、三一〇、七四三	三六、八八七、六三八
一八九一年	一三〇七	一〇、四四、六七五	一一、三一二、八〇六	三〇、五九九、四〇一
一八九二年	一四二〇	一、二二六、八八〇	一二、二〇八、六七七	三二、三四四、五三四
一八九三年	一四二一	一、一六九、〇九四	一二、五二九、三五九	三一、九二五、八九六
一八九四年	一四二二	一、二二二、九四五	二三、一八三、八六八	三三、二四二、三九四
一八九五年	一四二三	一、二七五、六五五	一四、一二四、一〇四	三三、九〇五、九六二
一八九六年	一四六二	一、三五九、八六五	一五、三八八、四九九	三六、七一五、一九一
一八九七年	一四八三	一、四六八、六八二	一六、三三〇、九五一	四〇、一七五、七七四
一八九八年	一五四三	一、五四四、七二五	一七、四三〇、〇六九	四二、六四四、七〇四
一八九九年	一五三一	一、六二三、二二一	一八、九三七、五九五	四五、一二六、七九七

(備考) 本表ハ政府ニ報告ヲ送付シタル組合ニ關スル總計ヲ蒐集シタルモノナリ。

大陸諸國ニ於ケル消費組合ノ發達ハ何レモ英國ニ及バザルコト遠シ。佛國ニテハ一八八九年ノ調査ニ依レバ組合ノ總數ハ約八百ニシテ會員ハ總數ハ約四十五萬ナリ。獨逸ニテハ之ニ關スル統計左ノ如シ

	組合數	組合員數
一八六五年	一五七	六、六四七
一八七〇年	三五四	四五、七六一
一八七五年	六一八	九八、〇五六
一八八〇年	六四五	九四、三六六
一八八五年	六八二	一二〇、一五〇
一八九〇年	九八四	二二五、四二〇
一九〇〇年	一一二八	五七〇、八八〇
一九〇一年	一二四六	六五二、四五六

余ハ是ヨリ英國ノ實例ニ基キ消費組合ノ組織及ビ活動ニ就キ述ブル所

消費組合ハ同一ノ地域ニ住居セル各種労働者ヲ以テ組織シ職工組合ノ如クニ職業ノ異同ハ措イテ之ヲ問ハザルモノトス。大工場ニ在テハ一工場ノ労働者ノミヲ以テ組織セラレタルモノ往々之アリ。

消費組合ハ組合員ノ間ニ物品ヲ賣捌クヲ主トセルモ組合ニ依テハ組合員ニ非ザル者ニ對シ物品ノ賣捌ヲナセルモノアリ。此場合ニ於テハ小賣ノ利益ハ購買者ニ歸セズシテ組合ノ手ニ落チ。從ツテ組合員ノ間ニ分配セラル、モノトス。

消費組合ノ賣捌ク所ノ物品ハ飲食物、被服類、家具、雜貨品等凡テ生活必需品トス。奢侈品ニ至ツテハ労働者ノ之ニ對スル需要少ナキノミラズ需要者ノ嗜好ニ就キ著シキ等差アリ。加之ナラズ之ガ購入ヲナスニハ金額ノ資本ヲ要シ到底組合ノ事業タルニ適セザルヲ以テ之ヲ取扱ハザル組合多シ。

物品ノ販賣ハ凡テ現金ヲ以テシ決シテ掛賣ヲ許サズ、是レ組合財務ノ基

礎ヲ鞏固ニスル爲ニ必ラズ執ラザル可ラザルノ方針ナリ

組合ノ資本ハ組合員ノ出資ヲ以テ之ニ充テ而シテ此出資額ハ各組合員ニ對シ均一ナルヲ以テ通例トス。是レ産業組合ニ共通ノ性質ニシテ各組合員ヲシテ對等ノ權利ヲ有セシムルノ必要ニ基クナリ。

利益ノ分配ニ就キテハ先づ出資ニ對シテ一定ノ利率ヲ支拂ヒ又若干ノ準備金ヲ引去リ其殘額ヲ組合員ノ購買額ニ應ジテ分配スルモノトス。

消費組合ニシテ事業ノ盛大ナルモノニ在ツテハ若干ノ工場ヲ有シ其ノ販賣スル所ノ物品ヲ製造スルモノ少シトセズ。例ヘバ「ロッヂデール組合」リーズ組合等ノ如シ。

中央消費組合ノ發生ハ消費組合ノ沿革史上最モ重要ナル事實ナリトス。抑モ中央組合ノ目的ハ先キニ述ベタルガ如ク各地方消費組合ノ爲ニ問屋ノ業ヲ營ムモノタリ。其資金ハ各地方組合ノ出資ヨリ成リ之ガ代表者ハ其事務ヲ管理セリ「マンチエスター」市ニ在ル所ノ中央消費組合ハ其規

模ノ宏大ナルコト實ニ驚クニ堪ヘタリ、組合事務所ハ之ヲ販賣部、製造部、運搬部、銀行部ノ四部ニ分チ販賣部ニハ大ナル商品陳列館アリテ此組合附屬ノ工場ニテ製造シタル物品及ビ卸店ヨリ仕入レタル物品ノ見本ヲ陳列シ、製造部ニハ「チヨコレート」ビスケット等製造場、磨麥場、「ソーブ」工場、靴工場、毛織物工場ノ附屬セルアリ、運搬部ハ六艘ノ商船ヲ有シ大陸諸國及ピ米國等ニ就キ物品ノ購入ヲナセリ、銀行部ニハ百餘名ノ事務員アリテ金錢ノ出納ヲ掌リ宛然一大銀行ノ風アリ。此組合ニ於ケル重役ノ數五十八人、事務員職工ノ數約三千七百人ノ多キニ及ベリト云フ、亦盛ナリト云フベシ。

今勞働問題上ヨリ消費組合ヲ觀察センカ實ニ稱揚スベキ社會改良策ナリト云ハザルヲ得ズ。凡ソ勞働者ノ地位ヲ改良スルガ爲メニハ必ラズ。先づ貯金ノ美風ヲ獎勵セザル可ラズ。然リ而シテ貯金ナルモノハ消費ノ節約ニ依ツテ生ズルモノナリ。而シテ消費ノ節約ハ容易ニ行ハルベキモノ

ニ非ラズ、殊ニ勞働ニ依ツテ生活セル者ニ在ツテハ此事ヤ最モ難シトス然ルニ消費組合ノ組織ハ組合員ヲシテ消費ノ節約ヲナスコトナクシテ從前ト同一ナル生計ノ程度ヲ保チ不知不識ノ間ニ貯金ヲナサシムルノ方法タリ、貯金方法ノ種類固ヨリ多シト雖モ其巧妙是ノ如キモノハ甚ダ稀ナリ。近時英國ノ勞働者ガ次第ニ其地位ヲ改良シ往々中等社會ト匹敵スル者アルニ至リシコトハ種々ノ原因モアラン去レド消費組合モ亦其一ニ數ヘザル可ラズ、「ラッサル」派ノ社會主義者ハ生活ノ費用ハ貨銀ノ高低ヲ定ムル惟一ノ標準ナリトノ前提ニ基キ消費組合ヲ非難シテ曰ク消費組合ハ生活ノ費用ヲ減少スルノ結果ヲ生ズ從ツテ貨銀ノ低落ハ之ヨリ起ラザルヲ得ズ。去レバ消費組合ノ利益ヲ享クル者ハ勞働者ニ非ラズシテ寧ロ資本家ナリト。抑モ貨銀ニ關スル「ラッサル」ノ前提ハ完全ナルモノニ非ラズ只一部ノ眞理ヲ含メルニ過ギズ。即チ生活ノ費用ハ貨銀ノ最低度ヲ定ムルノ一原因タルモ之ヲ以テ貨銀ノ高低ニ關スル惟一ノ標準

トナスハ誤謬ノ見解タルヲ免レサルナリ然リ而シテ此事ニ就キテハ茲ニ之ヲ論ズルノ必要ナシ、蓋シ消費組合ニシテ先キニ述べタル第一方法ニ依リ原價ヲ以テ物品ヲ賣捌クモノナラシメバ消費組合ハ多少生活ノ費用ヲ減少スルノ結果ヲ生ズルコトアランモ第二方法ニ依レル消費組合ハ普通市價ニ依リ物品ヲ賣捌クヲ以テ原則トスルガ故ニ生活費用ハ之ガ爲ニ何等ノ影響ヲ被ラザレバナリ。要之スルニ「ラッサル」派ノ消費組合ニ對スル非難ハ毫モ批評ノ價值ナキモノト云ハザルヲ得ズ。

或ハ消費組合ノ發達スルニ從ツテ小賣商ノ漸次減少スル事實ヲ見テ此種ノ組合ハ勞働者ヲ利スルト同時ニ小賣商ヲ害スルモノナルガ故ニ社會問題上何ノ得ル所ナシト論ズル者アリ此事實ヤ全然之ヲ否定スペキニ非ラズ各國ニ於テ消費組合ノ起ル毎ニ小賣商ノ激烈ナル反對ヲ受クルヲ見テ以テ之ヲ知ルニ足ル。然リト雖モ消費組合ノ發達ハ小賣商ヲ絶滅ニ歸セシメ經濟組織一變ノ端緒ヲ開クノ結果ヲ生ズルモノニ非ラズ。

社會主義者ニ在ツテハ或ハ此結果ヲ豫測スル者アラシモ余ハ之ヲ否定スルニ躊躇セズ。顧フニ消費組合ガ小賣商ノ地ヲ奪フハ其範圍極メテ狹隘ナリトス蓋シ消費組合ノ販賣スル物品ノ種類ハ先キニ述ブルガ如ク食物、被服等ノ生活必需品ナル場合多キヲ以テ此以外ノ物品ヲ取扱フハ小賣商ノナシ得ベキ所タリ、且又消費組合ハ組合員ニノミ物品ヲ賣捌クヲ以テ通例トナセリ或ハ組合員以外ノ者ニ向ツテ販賣ヲナスコトアルモ組合員以外ノ者ハ之ニ依ツテ毫モ利益ヲ受クルニ非ラズ。物品ノ購買ヲナスニ當リ消費組合ニ依ルモ小賣商ニ依ルモ何等利害ノ關係ヲ異ニスルコトナキヲ以テ此範圍ニ於テ小賣商ハ消費組合ト競争スルコトアルテ難キニ非ラズ。加之ナラズ消費組合ハ勞働者ヲ以テ組織セラレタルガ故ニ此他ノ社會階級ニ屬セル人々ヲ得意先トナス場合ニハ小賣商生存ノ餘地ハ實ニ綽々タルモノアリ。果シテ然ラバ消費組合ノ發達ノ爲ニ特定ノ範圍ニ於テ小賣商ノ利益ヲ害スルコトアランモ之ガ爲メニ小賣商

ヲ絶滅ニ歸セシムルト云フハ全タク杞憂ニ屬セリ

生産組合ノ目的ハ労働者ヲシテ組合ヲ設ケ共同ニ生産事業ヲ營マシムルニ在リ。此組織ニ依ルトキハ労働者ハ労力ヲ佔賣シテ資本家ノ爲メニ生産ニ從事スルニ非ズ組合員タル労働者ハ自ラ資本家トシテ資本ヲ供出スルト同時ニ労働者トシテ勞力ヲ供出シ由ツテ以テ生産利得ノ全部ニ就キ分配ヲ受クルモノタリ。今各國ニ行ハル、所ノ生産組合ノ組織ヲ按ズルニ若干ノ労働者團結シテ各自相當ノ出資ヲナシ此資本ヲ以テ工場ノ設備器械ノ据付、原料ノ購入等ノ費用ニ充テ而シテ組合員ハ更ニ労働者トシテ製造ニ從事スルナリ。只業務殊ニ繁忙ニシテ組合員ハ組合員ニ限ルヲ以テ通則トセリ。損益計算ハ定期ニ之ヲナシ賣上高ヨリ原料燃料等ノ代價、工場器械等ノ償却費、修繕費ヲ引去リ、又組合員ノ持分ニ對

シテ一定ノ利息ヲ支拂ヒ、組合員ノ労力ニ對シテ一定ノ賃銀ヲ支拂ヒ、其殘額ヲ以テ純益トナス、此殘額ハ之ヲ準備金、基本金及ビ配當金ニ分チ準備金、基本金ハ之ヲ組合員ニ積立テ而シテ配當金ハ各組合員ノ受クル賃銀額ニ應ジテ之ヲ組合員ニ分配スルモノトス。是レ生産組合組織ノ大要ナリ歐洲ニ於テ生産組合ノ最モ盛ンニ行ハル、所ヲ佛國トシ英獨二國ハ之ニ次グリ是レ他ナシ佛國工業ノ特色ハ精巧工業ニ在リ、從ツテ其工業組織ハ英獨二國ニ比スレハ寧ロ小規模ナルモノ多キヲ以テ生産組合ノ發達ニ幾多ノ便宜ノ存セルモノアルニ依ル、加之ナラズ數十年來該國ノ社會改良家ノ多數ハ頻リニ生産組合ノ必要ヲ唱道シ之ガ發達ニ助力セルノ事實モ亦之ガ一原因タラズンバアラズ、然レドモ之ヲ概言スレバ生産組合ノ運動ハ他ノ組合事業ニ比スレバ萎靡振ハザルコトハ各國ニ於テ均シク認メラレタル事實ナリトス

生産組合ノ目的ハ先キニ述ブルガ如ク労働者ヲシテ労働者タルト同時

ニ資本家タラシムルニ在リ。是レ資本家ト労働者トノ區域畫然タル現時ノ經濟組織ニ於テ一新例ヲ開ラクモノト云フベシ。去レバ歐洲ニ於テ盛シモソ「フーリエー」「ラーイン」等ノ學說以テ徵スペキノミ佛國社會主義ノ泰斗「ブラン」ノ如キハ政府ノ補助ヲ以テ之ヲ建設スルノ議ヲ立テ一八四八年ノ革命政府ハ遂ニ之ヲ實行スルニ至レリ。獨逸ニテハ「ラツサル派」ノ社會黨「ブラン」ノ學說ヲ祖述シ國立生產組合ヲ以テ其黨議ノ一ニ置ケリ。顧フニ是等ノ社會主義者ハ生產組合ニ於テハ資本家ト労働者トノ區別ハ全ク之ナキヲ見テ此組織ニシテ漸次擴張セラレ普テク各種ノ工業ニ及ビ廣ク全國ニ涉ルノ曉ニハ彼等ガ最終ノ理想トセル所ノ共產的社會ハ自ラ成立スルニ至ルベキコトヲ豫想シ、生產組合ノ發達ヲ以テ其理想ヲ遂行スルノ惟一手段トナセルモノナルベシ。然リト雖モ余ノ見ル所ニ依レバ生產組合ト共產的社會トハ其間何等ノ關係ナキモノタリ抑モ現

時ノ經濟組織ト共產的社會トノ區別ハ自由競争及ビ私有財產ナル二大原則ノ存在スルト否トニアリ。生產組合ナルモノハ果シテ此二大原則ヲ絶滅セシムルノ力ヲ有セルカ余ハ其ノ然ラザルヲ斷言セント欲ス。生產組合ヲ組織セル労働者ハ資本家ト労働者トノ二種ノ資格ヲ有セルコトハ明白ナル事實タリ然リト雖モ組合ノ資本ハ組合ノ共有ニ非ラズシテ各組合員ノ私有ニ屬セリ。組合ヲ解散スルトキハ組合員ノ私有財產トシテ配分サルベキモノタリ又組合ノ營業ヨリ生ズル利得ハ貯銀ニ應ジテ組合員ノ間ニ配當サル、ヲ常トセリ。是レ明カニ組合員ノ私有財產ヲ認ムルモノニ非ラズシテ何ゾヤ。加之ナラズ生產組合ノ發達スルニ及ンデハ最早資本ト勢力トノ間ニ於テ分配ニ關スル自由競争ハ其跡ヲ絶タンモ各組合ノ間ニ於テ生產ニ關スル自由競争ハ依然トシテ存在スペク此競争ノ結果トシテ貧富ノ懸隔ハ更ニ新タル形式ヲ以テ發生シ來ルヤ固ヨリ疑ヲ容レザルナリ。且夫レ歐洲各國ニ於ケル生產組合ノ實例ニ徵

スルトキハ生産組合ノ内部ニハ労働者ト資本家トノ畛域存在セル場合
ナキニ非ラズ。蓋シ生産組合ノ工場ニ於テ労働ニ從事スル者ハ悉ク組合
員ナルヲ以テ通則トスルモ事業闇ナル時ハ組合員ノ全數ヲ舉グテ業ヲ
執ラシムル能ハザルコトアリ。此場合ニハ自己所屬ノ組合ニテ業ヲ失ヒ
タル労働者ハ必ラズヤ他ノ工場ニ赴キテ以テ衣食ノ途ヲ求メザル可ラ
ズ。反之シテ事業繁忙ニシテ組合員ノミニテハ労力ノ不足ヲ感ズル場合
ニハ組合員以外ノ労働者ヲ招キ之ヲ傭使セザル可ラザルコトアリ、又労
働者ハ終身同一ノ業務ヲ執ルベキモノニ非ラズ種々ノ原因ニ基キテ其
業ヲ轉ズルコトアルベシ。其子孫タル者ガ常ニ父祖ノ業ヲ襲ヒ世襲ノ家
業ニ從事スルコトモ亦甚ダ稀ナリ。是等ノ場合ニ於テ労働者ハ必ラズヤ
其所屬ノ生産組合ヲ變更セザル可ラズ。是等ノ事情ニ基キ各國ノ生産組
合ニシテ其創立ノ趣意ニ背カズ其本來ノ目的ヲ失ハズシテ永久ニ存續
セルモノ甚ダ少ナク或ハ組合員ノ幾部分ハ只其持分ノミヲ有シ利益ノ
可ナルコトナカルベシ。

配當ニ與リテ毫モ勞力ヲ供出セズ宛然株式會社ノ株主タルガ如キ者ア
リ或ハ組合員以外ノ労働者ノ數多キニ失シ此種ノ労働者ト組合トノ間
ニ労働條件ニ開スル衝突類リニ起ルコト資本家ノ工場ト其趣ヲ異ニセ
ザルモノアリ。由是觀之レバ生産組合ノ内部ニ資本家ト労働者トノ區別
ナキハ其創立ノ際ニ限り漸次此區別ノ復活スルコトヲ豫期セザル可ラ
ズ要之スルニ生産組合ハ本來ノ性質ニ於テ社會主義ト何等ノ關係ナシ
而シテ自由競争ト私有財產トノ二大原則ニ抵觸スルモノニ非ズ、從ツテ
現時ノ經濟組織ニ在ツテ之ニ依リテ労働者ノ地位ヲ改良シ福利ヲ増進
スルコトヲ得ベク之ヲ以テ一種ノ社會改良主義ノ畫策トナス亦何ノ不
可ナルコトナカルベシ。

生産組合ノ性質是ノ如シトセバ其ノ社會改良策トシテノ効力ハ自ラ之
ヲ知ルニ難カラズ。抑モ雇傭關係ニ依リ資本家ノ爲メニスル労働ニ在ツ
テハ工業利得ノ大部分ハ資本家ニ歸シ労働者ハ只一定ノ賃銀ヲ受クル

ニ過ギザルヲ常トス。然ルニ生産組合ニ在ツテハ組合員ニシテ労働ニ從事スル者ハ普通ノ貯銀ヲ受クルト與ニ純益ノ配當ヲ受クルコトヲ得又組合員ニシテ労働ニ從事セズ只持分ヲ有セル者ト雖モ純益ノ配當ニ與ルコトヲ得ルナリ、而シテ組合員ニ非ラズシテ臨時ニ組合ニ備入レラレタル労働者ハ資本家ノ工場ニテ労働スル者ニ比スレバ其ノ労働者タル地位ハ敢テ異ナル所ナキモ労働條件ニ關シテ大ニ寛待セラル、コトアルヤ言ヲ俟タズ。

今ヤ歐洲各國ニ於テ生産組合ノ運動ガ萎靡振ハザルコトハ先キニ之ヲ述べタリ是レ何ニ由ツテ然ルカ、凡ソ生産組合ハ工場、機械ノ設備ノ爲ニ巨額ノ固定資本ヲ要スル所ノ事業ニ於テ發達スペキモノニ非ラズ。奈何ントナレバ是ノ如キ巨額ノ資本ヲ醸出スルコトハ到底労働者ノ力ノ及バザル所ナレバナリ、是ヲ以テ此種ノ組合ハ大工業ニ應用スルコト甚ダ難ク、只特定ノ小工業ヲ以テ其應用ノ範圍トナスノミ。且夫レ生産組合ハ

其製品ノ價格ハ激變ニ罹リ易ク又其販路ニ就テ競争ノ劇甚ナル工業ニ於テ發達シ得ベキモノニ非ラズ。蓋シ物價ノ變動、販路ノ消長ヲ見テ之ニ應ズル適當ノ處置ヲナスコトハ多年商工業ノ經驗アル資本家ト雖モ尙ホ難シトスル所ナリ、況シヤ是等ノ事柄ニ就キテハ概シテ經驗智識ナキ労働者ニ於テヲヤ要之スルニ生産組合ヲ應用スベキ工業ハ特定ノ範圍ニ限極セラレタリト云ハザルヲ得ズ。加之ナラズ生産組合ノ經營ノ爲ニ最モ必要ナルハ適當ナル管理者ヲ得ルヨトヽ斯而シテ之ヲ組合員中ニ求ムルコト甚ダ難シ或ハ外部ノ人ヲ傭入レテ其任ニ當ラシムルノ方法アルモ此種ノ管理者ハ労働者タル組合員ニ對シ其思想性行ノ合致セザルコトアリ從ツテ事業ノ進歩ヲ阻害スルノ憂アルヲ免レズ、何レノ場合ニ於テモ管理者ト組合員トノ間ニ純益ノ分配ニ關シ多少ノ衝突ヲ起スコトハ屢々之ヲ見ル所ナリ、又適當ナル管理者ヲ有セル所ノ組合ニ在テモ生産組合ノ性質トシテ其營業ニ關シテ組合員ト協議シ多數ノ意思ニ

依ツテ處決セザル可ラザルガ故ニ機ニ臨ミ變ニ應ジ專決果斷ノ處分ヲ
ナスコト能ハズ。靈妙ナル手腕ヲ有セル管理者ト雖モ之ヲ奈何ントモス
ル能ハザル場合少シトセズ且夫レ生産組合ノ事業ニシテ一朝否運ニ向
ヒ巨額ノ損失ヲ釀セルトキニ際シ損失ノ填補ヲナスノ方法ヲ設クルコ
ト甚ダ難シ。奈何ントナレバ組合員ハ盡ク恒產ナキ勞働者ナルヲ以テ持
分以外ノ出資ヲナスコト能ハザレバナリ。或ハ準備金ノ制ヲ設ケ之ニ備
フルモノアルモ組合員ハ純益アルトキハ成ルベク其配當ヲ多クスルコ
トヲ務メ充分ナル準備金ヲ積立ツルコト能ハザルハ勞働者ノ地位トシ
テ已ムヲ得ザルコトナリ。此場合ニ於テ生産組合ハ終ニ破産ノ悲境ニ陥
ラザルヲ得ズ。要之スルニ生産組合ハ各種ノ社會改良策中其經營最モ困
難ナルモノタリ。今ニ至ツテ此種ノ蓄策ガ盛運ニ向ハザルハ亦偶然ニ非ラズ。
勞働者ト産業組合ノ關係ニ於テ余ハ特ニ消費組合及ビ生産組合ニ就テ
説明ヲ試ミタリ此以外ノ産業組合ニシテ勞働者ガ由ツテ以テ其福利ヲ

増進シ其地位ヲ改良スルニ足ルモノナキニ非ラズ例ヘバ信用組合等ノ
如シ然レドモ是等ノ組合ハ多クハ小工業者ノ經營ニ係リ勞働者ニ依ツ
テ組織セラレタモノハ各國ニ於テ其實例甚ダ少ナキヲ以テ茲ニ之ニ論
及セザルナリ

工業經濟論畢

26/8/40

明治四十年三月八日印刷

明治四十年三月十一日發行

禁
不
許

漢
譯
複
製

工業經濟論與付

定價金壹圓五拾錢

本報每本料金貳拾五錢

著者

桑田熊藏

發行者

江草斧太郎

東京市神田區下六番町十七番地

印刷者

松澤虹三


東京市神田區一ツ橋通町七番地四、五號地

發行所 (電話本局三二三番) 有斐閣書房

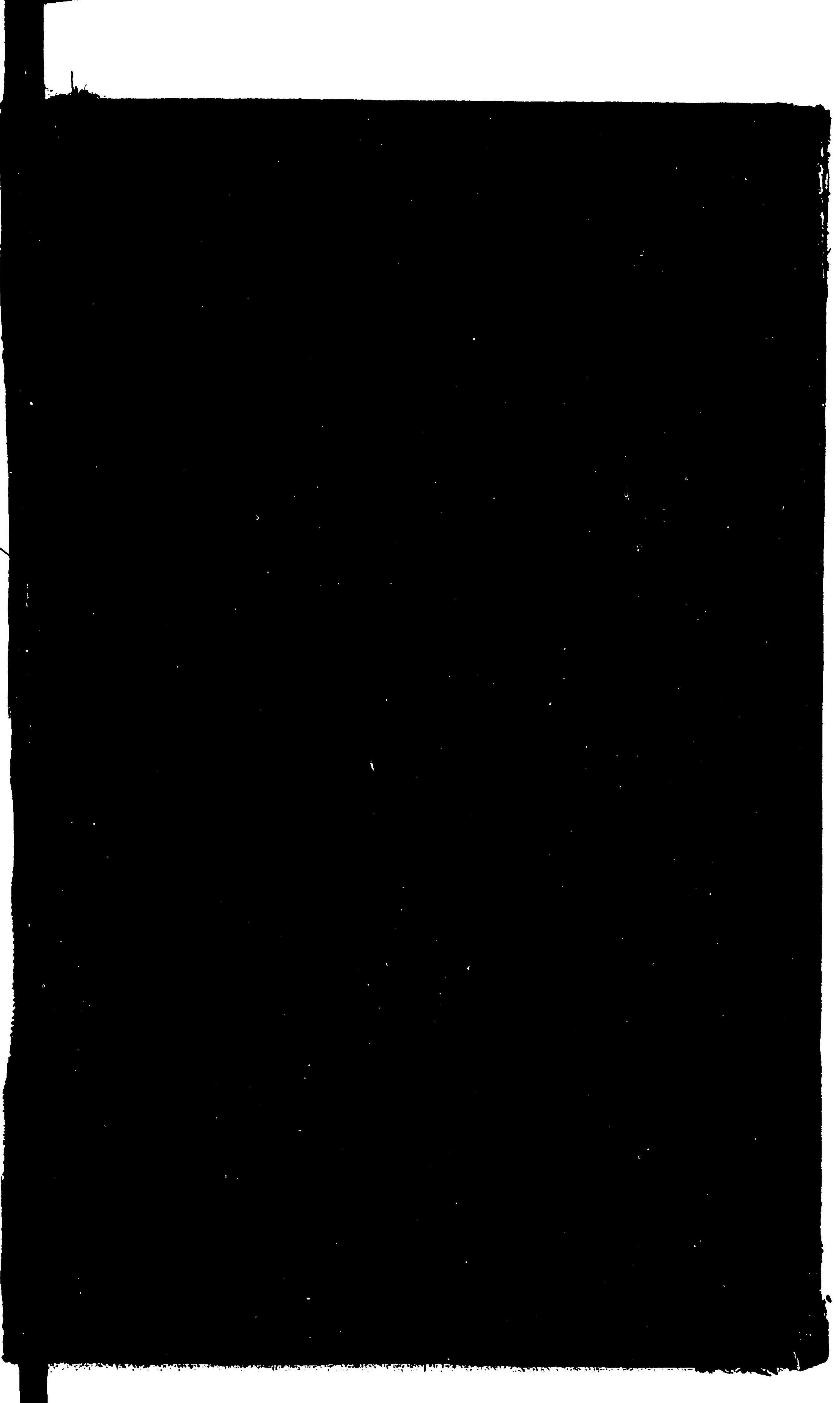
發賣所 有斐閣雜誌店

[會 務 同 (九六三町番詰) 町番六下區町號 所 印]

東京市神田區一ツ橋通町七番地四、五號地







042975-000-3

40-849

工業經濟論

桑田 熊藏/著

M40

BDK-0033



